

ISK経営塾65期 講義キーワード

第4回

2005年2月1日(火)

◆前回講義キーワード

- 心と体は道具。自分なりにコントロールをして、うまく使いこなして勝っていく。
- 夢があるからパワーも迫力も知恵も出てくる。生き生きとした毎日を送ることができる。
- 夢がないから楽な道を選び、その場限りの仕事になってしまう。
- 変化に受身になって「乗り遅れない」ではなく、自ら先に行き、自らが変化を創り出すようになろう。
- 2005年で団塊の世代が定年を迎え、今までのパラダイムが劇的に変わり、21世紀がスタートする。
- 今後はあらゆる局面で2極化が進み、“そこそこ”という中途半端はなくなる。我々は勝ち組となろう。
- “昨日の続き”で惰性を続けていては勝つことはできない。

- オペレーションをすることが経営ではない。経営は未来とのコミュニケーションをして、勝てる戦略を構築することである。
- 価格競争で勝負をするな。どこにも負けない価値を創り出し、値上げをして勝っていく。
- 客を創る能力のない人、価値を創造できない人はこの先食っていけない。顧客創造と価値創造が21世紀のビジネスの基本である。
- 自分の仕事に想い・夢を乗せる。小手先のHow Toではなく、想いと夢で勝負する。
- 夢や想いが強いからこそ、アイデアも工夫も自然と生まれる。もっと自分の夢を鮮明にイメージしよう。
- 夢を想わなければ、行動も変わってこない。
- 努力と成果には時間のずれがある。すぐに諦めずに自分を信じて努力を継続すれば、成果は必ず現れる。

- 行動を変えるためにもっと感性を磨く。どんどん非日常体験をして、感じる人間になろう。
- 待っていてはダメ。できることから自主的に行い、自分で仕事を創っていく。
- “創”で無から有を生み出すことが今後のポイント。顧客創造・価値創造など、作業からは“創”は生まれてこない。
- 絶対積極で「できる」と思ったやつが勝つ。
- スピードの差はやる気の差である。
- 情熱をもって周囲を引きずり回す。受身で引きずられていては、創造性は出てこない。
- 摩擦やトラブルを恐れるな。これらがあるからこそお役にも立てるし、差別化もできる、価値も生み出せるのである。
- 行動する事で自信が生まれてくる。命がけで仕事をすれば、パワーも出る、未来も自然に見えてくる。